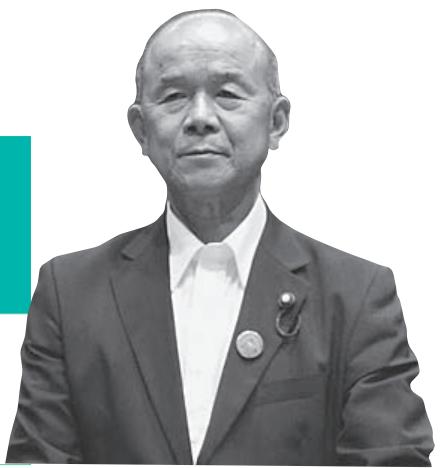


質問

コロナ禍、米価下落の所得回復の戦略は

町長

世界農業遺産のブランド力効果を期待する



糸原 壽之 議員



世界農業遺産を目指す奥出雲町

質問 コロナ感染症の拡大により、米の消費が極端に減り、需給のバランスが崩れたことから生産者米価が下がり、水稻農家の所得は大きく減った。

そこで町は、昨年一昨年と水稻農家個々へ、支援を実施した。

しかし、需給バランスによる生産者米価は依然として上がった。気配は無いなか、町の地域経済発展、仁多米のブランド力維持向上のため、水

稻農家の所得回復は必至であり、その方策と新たな所得向上目標、その戦略を立てて必要がある。町長の所感を伺う。

町長 現在国は、肥料等生産資材価格高騰対策も踏まえ、持続可能な農業生産活動を目指した、みどりの食料システムを推進することにした。

本町もこの事業を活用し、更なる資源循環型を推進するとともに、農業遺産のブランド化と消費者に

安心して選んでいただけの水稻をはじめとした農林産物生産振興を開拓し、農家所得の回復にあたる考え方である。

ヤツチフレーズとかキヤツチコピーを掲げて、町民誰もが同じ方向を向いて、取り組むことが必要ではないか。

その結果について、認証制度を検討し、そのなかで有機JA Sとか美味しまね認証との比較の整理を行い、町の独自性を出そうとしている。

今、世界農業遺産の申請のなかでのプラ

再質問 国の事業もいいが、本町独自の目標戦略を立て、キ

「あめつち」乗り入れ後のJR西日本との協議状況は

質問 奥出雲おろち号に代わる列車、「あめつち」乗り入れ後の列車ダイヤ及び地域振興について、木次線活性化促進議員連盟は、JR西日本へ申し入れたい旨、町長へ提言しているが、その後の対応は。

再質問 「あめつち」乗り入れによる地域経済活性化と本町の魅力発信に繋げるための具体的な提案は。

町長 JR西日本側からは、「あめつち」の具体的な運行計画はまだ示されていない。協議されたい旨申し入れる。

からは、「あめつち」の具体的な運行計画はまだ示されていない。協議されたい旨申し入れる。



出雲横田駅 上り、下りの列車交叉